

健康危機管理（感染症） 体制の推進

2025.7.25 感染症対応基礎研修
浜松市保健所保健総務課



浜松市

◆新型コロナウイルス感染症対応の課題

- 保健所は日常業務の増加やＩＣＴ化の遅れなどにより有事に対応するための余力が乏しい状態だった
- 感染拡大期における保健所業務の優先順位や、保健所と医療機関、消防機関、市町村等との役割分担や協力関係が不明確であった結果、感染拡大のたびに保健所業務がひっ迫した

「新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議報告書」（令和４年６月１５日内閣官房）

- 陽性者の発生前から、相談や検査の対応に関する業務量が増大した
- 刻々と変化する状況を俯瞰でとらえ、適正な対応につなげるための関係部署との調整機能が不足し、感染症担当が現場対応に専念できなかった
- 感染症対応経験のある職員が少ない上、所属部署の追加業務対応のため、感染症対応を主体的に行う応援職員が限られた



浜松市

◆ 平時から健康危機に備える保健所体制の強化

2022（R4年）12月 地域保健法の改正

2023（R5年）3月 地域保健対策の推進に関する基本的な指針の改正

⇒ 健康危機に備えた計画的な体制整備の推進

保健所は「**地域における健康危機管理の拠点**」

◆ 保健所健康危機対処計画（感染症編）の策定

- ・ 感染症による健康危機における 人員体制の確保
- ・ 業務の効率化（DXの推進等）
- ・ 感染症対応ができる 人材育成のための研修・訓練等

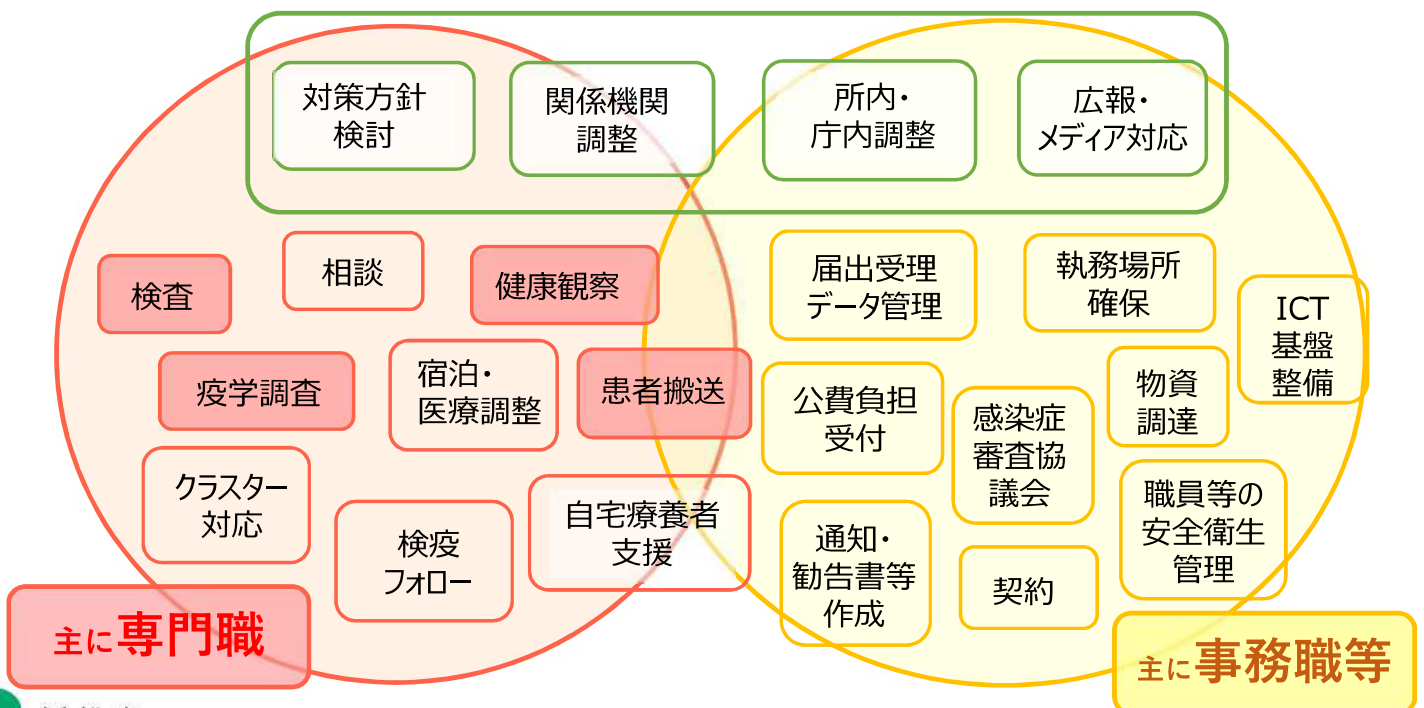
IHEAT（Infectious disease Health Emergency Assistance Team）

- ・ 感染症のまん延等健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組み



浜松市

◆ 感染症による健康危機発生時の対応



浜松市

◆感染症による健康危機発生時の必要人員

- ・流行開始から1か月の間に想定される業務量に対応するための必要人数

・・・**166人**/日

(新型コロナウイルスがオミクロン株に変異したいわゆる「第6波(2019年12月～2020年6月)」と同規模の感染が流行開始から1か月間に発生した場合を想定)

【浜松市における第6波の状況】

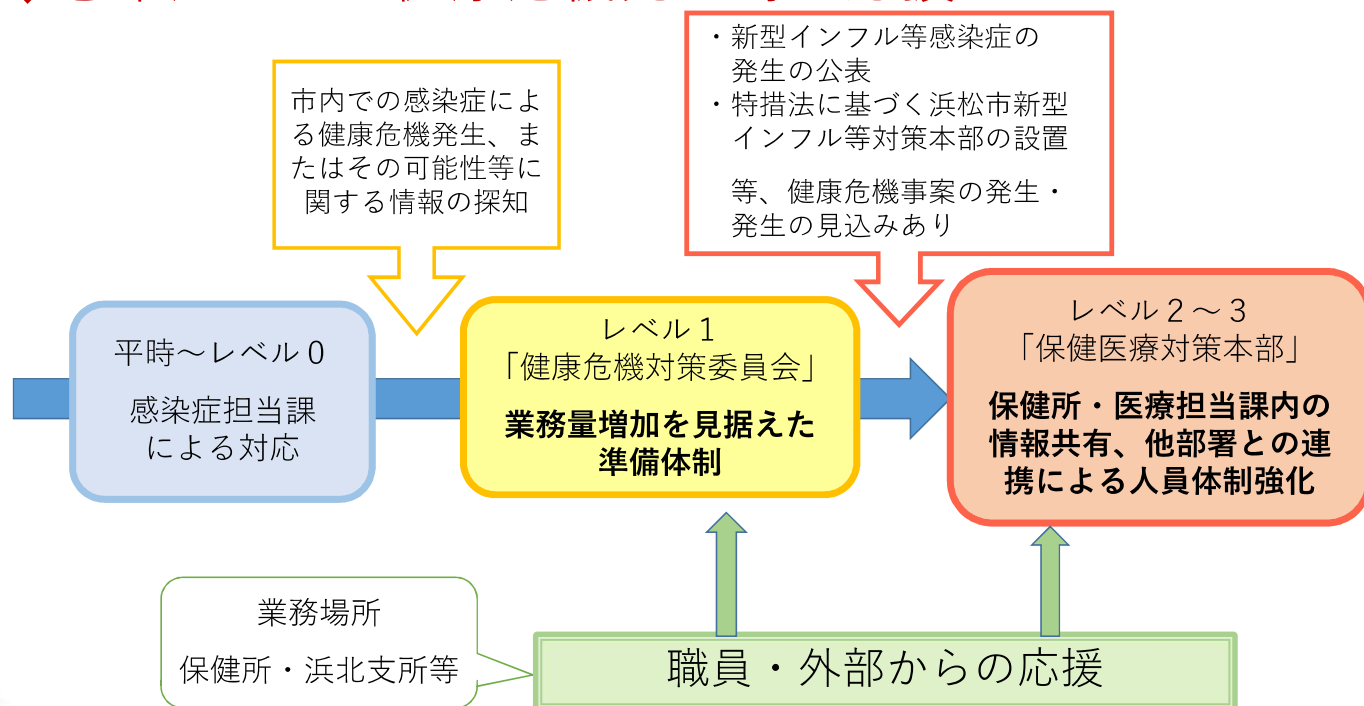
- ・相談件数 一日最大 938件/日
- ・行政検査 一日最大 239人/日
- ・新規感染者数 一日最大 471人/日
- ・新規自宅療養者数 一日最大 410人/日
- ・健康観察件数 一日最大 3,111件/日

(浜松市感染症予防計画・
浜松市保健所健康危機対処計画(感染症編)より)

感染症担当部署のみの対応は困難
全庁の協力体制が必要



◆感染症による健康危機発生時の応援



◆全庁職員に求められる役割～感染症まん延に備えて

➤ 日常的な準備

- 感染症に関する基礎知識の習得
- 所属部署の役割の理解
 - 業務継続計画（BCP）の確認
 - マニュアルや対処計画等を確認し、自部署の役割を把握する
 - 感染症の種類や規模によって役割が変わる可能性があることを理解する
- 個人の感染予防対策の実践
- マニュアルの確認と更新
- 研修・訓練への参加

➤ 部署間の連携

- 円滑な情報共有
- 迅速な意思決定と行動
- 柔軟な人員配置への協力

➤ 発生時の対応

- 正確な情報収集と共有
- 保健所や対策本部の指示に従った行動
- 市民への適切な情報提供と対応



浜松市

感染症などによる健康危機が発生した際には
ご理解ご協力をいただけますと幸いです

ご清聴ありがとうございました



浜松市